

第156回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成29年1月24日（火）16時00分～17時00分

場 所 大学本部棟5階第1会議室（TV会場：医学部管理棟2階学長室）

出席者

（評議員）島田学長、早川理事、堀理事、吉田理事、杉山理事、藤井理事、岩崎副学長、
中村教育学域長、武田医学域長、豊木工学域長、黒澤生命環境学域長、
竹内附属図書館長、
大隅・加藤・杉田・大木・熊田・坂本・柳田・風間 各教授

（列席者）鮎川監事、八巻監事、白沢学長補佐、
本多財務管理部長、松永施設・環境部長、清水教学支援部長、山田研究推進部長、
美濃総合情報戦略部長、茅国際部長、山田医学域事務部長、
志村企画課長、深澤特命課長、石原監査課長、石原総務課長、杉浦人事課長、
桐島財務管理課長、宝示教務課長、仙洞田学生支援課長、井部研究推進課長、
田中図書・情報課長、佐野教育学域支援課長、飯野生命環境学域支援課長、
望月総務課課長補佐、仲嶋工学域支援課課長補佐

議事要録確認

第155回教育研究評議会（28.12.20開催）議事要録を確認した。

報告事項

1 役員会の開催状況について

吉田理事から、第179回（28.12.27開催）の役員会開催状況について、資料1により報告があった。

2 大学院総合研究部会議の開催状況について

吉田理事から、第29回（29.1.10開催）の大学院総合研究部会議開催状況について、資料2により報告があった。

3 助教の採用報告について

吉田理事から、資料3により報告があった。

・平成29年1月1日採用	医学域臨床医学系	助教2名
	医学域基礎医学系	特任助教2名
	医学域臨床医学系	特任助教1名
	工学域物質科学系	特任助教1名
	生命環境学域生命農学系	特任助教1名

4 月1回のノー残業デーの試行について

吉田理事から、資料4により、職員の健康保持・促進、日常業務における業務の効率向上、省エネルギーの推進及びワーク・ライフ・バランスを図るため、毎月俸給日を「ノー残業デー」と定め、原則18時には消灯することとし、事務系職員を中心に試行する旨報告があった。

併せて、既に各課等で実施している週1回の「ノー残業デー」について確認した。

5 学生の懲戒について

堀理事から、平成28年12月8日に行われた「微分積分学II」の中間試験において不正行為を行った学生1名に対し、学則第40条に基づき1月25日に停学1か月の懲戒処分を行う旨報告があった。

6 学生の学籍異動について

堀理事から、資料5により、平成28年12月31日現在の状況について報告があった。

併せて、豊木工学域長から工学部学生の休学者数増加要因を分析した結果や今後の課題等について説明があった。

7 卓越大学院の申請について

早川理事から、資料6により、現在文部科学省が構想している「卓越大学院」の制度概要等について説明があり、平成23年度に採択され、平成29年度に終了する「博士課程教育リーディングプログラム」の後継として申請することを予定し、文部科学省と本学の構想について事前協議を開始している旨説明があった。

8 「CITI JAPAN e-learning 教材」を使用した研究倫理教育の実施状況について

早川理事から、資料7により、研究活動における不正行為の防止に関する取り組みとして、標記教材を使用した研究倫理教育の実施状況（受講状況）について報告があった。

また、各学域等において、未受講者に対し本年度末までに受講を完了するよう周知・徹底の依頼があった。

9 平成29年度国立大学法人運営費交付金 予算内示について

杉山理事から、資料8により、文部科学省から昨年12月22日に予算内示があり、国立大学法人全体としては運営費交付金の1%削減が行われず、国立大学法人機能強化促進費（新規）と合わせ、対前年度25億円の増加となったが、本学の予算は人件費増大の影響により、厳しい状況である旨報告があった。

また、「機能強化促進係数」として、各国立大学から削減された係数影響額を財源に「戦略の評価結果」に基づき、機能強化経費（機能強化促進分）及び国立大学法人機能強化促進費として再配分されるが、本学への再配分額は全体で微増であった旨報告があった。

なお、不明な点等があれば、財務管理部財務管理課まで連絡願うこととした。

10 平成29年度当初予算による施設整備費実施予定事業の状況について

杉山理事から、資料9により、医学部キャンパスに係る「病棟Ⅱ」、「ライフライン再生（電気設備等）」、「基幹・環境整備（支障切り回し）」の3事業について、施設整備費実施予定事業として内示があった旨報告があった。

11 その他

- (1) 平成28年度補正予算事業「地域科学技術実証拠点整備事業」の審査結果について
学長から、平成28年度補正予算事業として「地域科学技術実証拠点整備事業」を文部科学省に申請したが、採択に至らなかった旨報告があった。

審議事項

1 教員の採用（昇任）選考（案）について

吉田理事、中村教育学域長、武田医学域長及び堀理事から、資料10及び机上配付回収資料により4名の教員に係る選考経緯等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

- | | | | |
|--------------|-----------------------------|------|---------|
| ・平成29年2月1日昇任 | 医学域臨床医学系 | 講師 | 1名（非公募） |
| ・平成29年2月1日採用 | 生命環境学域環境科学系（特別教育プログラムオフィサー） | 特任教授 | 1名（公募） |
| ・平成29年4月1日昇任 | 教育学域人間科学系 | 教授 | 1名（公募） |
| ・平成29年4月1日採用 | 教育学域人間科学系 | 准教授 | 1名（公募） |

2 平成29年度研究休職者（案）について

吉田理事から、資料11により、平成29年度における新規推薦分及び既承認分の研究休職者について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 医工農学総合教育部（博士課程）の改組（案）について

早川理事から、資料12により、文部科学省と協議を重ね、新大学院設置WGにおいて検討を進めてきた博士課程の改組について、組織体制、名称、入学定員、カリキュラム概要等の説明があり、審議の結果、これを承認した。

併せて、文部科学省との協議を継続しながら、今後、学内主要会議での審議を経て、大学設置・学校法人審議会への申請手続き等を進めていく旨説明があった。

4 山梨大学専攻科規則の廃止及び同細則の制定（案）について

堀理事から、資料13により、特別支援教育特別専攻科において教員免許状授与のための新たな所要資格が文部科学省に認定されたことに伴い、組織、収容定員及び履修方法等について規定するとともに、学内規則の制定手続き等に関する申合せに基づいた規則の改廃を行い整備する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 国立大学法人山梨大学授業料等に関する規程の一部改正（案）について

杉山理事から、資料 14 により、甲府国際交流会館（甲斐路分館）の寄宿料を、学内他施設の個室面積や設備等と比較勘案し、料金均衡を保つための改正を行う旨、併せて専攻科名称の変更を行う旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 山梨大学国際交流会館使用内規の一部改正（案）について

堀理事から、資料 15 により、甲府国際交流会館（甲斐路分館）の使用料を、学内他施設の個室面積や設備等と比較勘案し、料金均衡を保つための改正を行う旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 留学生受入れ数値目標の達成について

堀理事から、資料 16 により、第 3 期中期目標・中期計画における留学生受け入れの数値目標達成に向け、国際交流委員会からの提言を受けて、各学域等における取り組みを加速させる旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 式典（入学式及び卒業式）における国旗掲揚及び国歌斉唱について

学長から、前回継続して検討することとした日章旗の掲揚方法の見直し及び国歌の斉唱導入について、一部で現状維持を希望する意見もあったが、学域としての反対意見が無かった旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、平成 28 年度卒業式・修了式から実施することとした。

※次回会議 平成 29 年 2 月 21 日（火）16 時 00 分からの開催を確認した。

以上